

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成21年11月19日(2009.11.19)

【公開番号】特開2008-92756(P2008-92756A)

【公開日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-015

【出願番号】特願2006-273876(P2006-273876)

【国際特許分類】

H 02 K 35/02 (2006.01)

【F I】

H 02 K 35/02

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月5日(2009.10.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外周に金属線をコイル状に巻きつけた曲率を有する中空筒を配置して、リング状通路を有する筐体を構成し、前記リング状通路内に、永久磁石を運動可能な状態で封入したことを特徴とする回転発電機。

【請求項2】

外周に金属線をコイル状に巻きつけた曲率を有する複数の中空筒を配置して、中空のリング状通路を有する筐体を構成し、偶数個の永久磁石を互いに反発するように前記リング状通路に配置し、それぞれの前記永久磁石が、前記中空のリング状通路内を円運動もしくは円弧運動することを特徴とする回転発電機。

【請求項3】

前記複数の永久磁石が前記リング状通路内を回転する際に、前記金属線を帯状の幅でコイル状に巻いた部分の各前記永久磁石の通過が異なって起き、前記コイル状に巻いた部分の出力加算が出来るようにしたことを特徴とする請求項2に記載の回転発電機

【請求項4】

長手方向に曲率を有する非磁性の中空筒を形成し、前記中空筒の周囲に金属線をコイル状に巻き付けて中空コイルとなし、一つ以上の前記中空コイルが配置された中空のリング状通路を形成すると共に、永久磁石を封入して、前記永久磁石が回転移動する中空のリング状通路を有する筐体を構成したことを特徴とする回転発電機の製造方法

【請求項5】

偶数個の永久磁石が互いに反発しあう状態で、前記中空のリング状通路に挿入され、かつ偶数個の永久磁石が中空のリング状通路内壁によって、互いに吸着しないように拘束されつつ、回転移動が可能なように前記中空のリング状通路を構成したことを特徴とする請求項4に記載の回転発電機の製造方法